

高岡 大法寺護持会

発行所

〒933-0927

高岡市利屋町67

海秀山大法寺

TEL(0766)23-0115

FAX(0766)23-0125



越後の上杉謙信の七尾攻めに。前述した如く、現存するよって壊滅、畠山氏の滅亡を長谷川一族の作品群のほとんどもって、長谷川家の家職が七尾以外の地域に現存している事実もそれを裏付ける証拠となる。

長谷川等伯考

(8)

一族の作品群

信春が七尾城下を去り、一族と共に京都に拠点を移したのはいつの時期なのであろうか。

元龜二年（一五七二）信春三十三歳の折り、養父宗清、養母妙相が相次いで他界する。加えて元龜三年（一五七二）

に本法寺第八世にして三十歳で遷化した日堯上人の遺像を制作していることから、これまでは元龜三年（一五七二）頃にはすでに京都に移住していたと考えられてきた。しかし『等伯画説』にも、養祖父無分が京の七条道場（金光寺）で鶴の絵を見たとの記述

がある如く、無すでに指摘した。先述した如く、信春が七尾で活動した時代から長く、信春が七尾で活動した時代は、守護畠山氏の衰退期であり、「永禄九年の乱」等が

上京していた可能性が高い。そして、京都本山本法寺は信春の実家奥村家の菩提寺、七尾本延寺が末寺として所屬すと考えられる。そして、長谷

上杉謙信の七尾攻め

畠山氏滅亡で信春京都へ

大法寺住職 栗原啓允

た長谷川一族の作品の大部分が、七尾城落城の折りに焼失した可能性を考えれば、七尾法華町衆として七尾法

る信春有縁の本山である。永禄七年（一五六四）同寺の「日蓮聖人坐像」の彩色を信春に依託した本延寺の住職の仲介で、当時未だ七尾にあってた信春が養父道浄の追善の為に「日堯上人画像」を制作し、家三代にわたる活動の拠点であった七尾城下が、天正五年（一五七七）に



鬼子母神十羅刹女図《妙伝寺蔵》

代より関わりがあった京都法華宗本山始め、京都における人脈を頼って上京する以外に、もはや画業を続ける術がなかったのではなからうか。

この時期の信春の上京の動機に狩野派への対抗意識を見る向きもあるが、当時の長谷川一族の置かれた状況を素直に見れば、やはりこの時期の京都移住は、絵師として画業を以て一族を養うことが主な動機であったと考えられる。

本山京都本法寺内教行院に居を定めた信春は、門徒に対し一家一門家人に至るまで法華信徒たることを要請する、本山妙覚寺の大檀越たる狩野一門の配下に、その当時の法華衆の身分秩序に従って当然の如くに身を置いたのではなかったか。そしてこのことによつて、自らの画才を生かし生計の術を得たのではなかったか。狩野派側・長谷川側の信春狩野派入門の記述はこの間の事情を記していると思われる。

少子高齢化の進行を受けて、他家に嫁がれた娘さんから自当山の檀家様の中にも自宅やお仏壇を維持出来なくなるお宅が出てきております。

例えば、子どもがいない、娘さんがいるが既に他家に嫁いでいる、継承者はいるが遠隔地に居住しているなどの理由でお年寄りだけで生活されているお宅に多く見受けられます。

現在大法寺ではほとんどの

大法寺開山堂内に 月牌棚を設置いたしました。

後益々増えていくことは確かです。

そこで当山ではこの様な檀家様に対し、これまでお宅にお伺いしていた月回向に替わる供養の仕方として、開山堂内に新たに月牌棚を設置いたし、

無自宅、守り手の無いお仏壇が残されることとなります。位牌だけでも此処に安置し、お亡くなり

い精霊を中心に月々の御回向を開山堂内にてお引き受けたいこととしました。

実は諸般の事情で自宅でお位牌をお寺に預けて、月牌回帳にそれらの法名を記載して月々の御回向を依頼することは「月牌供養」と呼ばれ古くから行われてきたことです。

当山開山堂にも江戸時代からの「月牌回帳」が残されております。

どうか当山の意のある所にご理解を賜りまして、将来のお仏壇の護持に不安を感じておられる方へあります。遠慮無くご相談下さい。

自宅の取り壊しの際のお祓い、お仏壇の開眼戻し処分の段階からお手伝いを致します。



総合建設業・一級建築士事務所

原建設株式会社

代表取締役 原 龍 治

本社 富山県射水市作道2035-4 TEL (0766)84-5612 FAX (0766)84-3598
 福岡支店 高岡市福岡町下老子493 TEL (0766)64-6199

今回は第九問答についてみていきます。
これまで見てきた八つの問答の中で、旅客は浄土教に心を寄せながらも、主人の論しによって謗法の根源が法然の『選択集』にあり、その行為によって日本に飢饉が発生しているのだということを受け

えに生きる僧侶に供養をささげ、仏法の林や海の中にいる盗賊をいましめるならば、皆が願う平和な国土がもたらされるでしょう。」
これに對し主人は次のように答えました。
「あなたが真にこの国の安泰を願うならば、必ず謗法行

こつていない二つの災難があるからです。その二つの難とは、外国からの侵略を受ける他国、他国侵逼の難と自界叛逆の難は、『立正安国論』の予言性を支えるうえで、大切な経証として意味を持つことになりま

す。そのことが、日蓮上人の「予言者」と称されるうえでの一側面を持つことになります。さて、実はこの第九問答に

文

「正しい教え」に供養

皆が願う平和な国土

栗原啓



入れました。そして次のように語りました。
「結局のところ、この国土が泰平であり、この世界が安穩であることは、上は上皇から下は平民に至るまですべての人たちが望むところでありま

す。なぜ主人は改めて謗法行為をやめさせるようにしなければならぬと指摘しているのか。このことに関する理由は、『薬師経』の中に

「私が謗法行為の退治を勧めた理由は、『薬師経』の中に

天才絵師 長谷川等伯に誘われて ～こころの原風景・北陸～

今年7月、BS TBSで放送された、長谷川等伯を扱った番組が、1月22日(金)19:00～21:00に同局で再放送されます。作家 安倍龍太郎さんが、当山を訪れた時の様子も放送されますので、どうぞご覧下さい。

蒙古襲来によって大きな意味を持つことになり、更に自国の内乱である自界叛逆の難は、文永九(一二七二)年二月に、執権の北条時宗が庶兄の北条時輔および名越時章、教時等を謀反の意図があることとして処刑したいわゆる二月騒動が起きたことによつて的中



大越仏壇株式会社

<JA・全農・指定店>

富山県高岡市福岡町下老子736 TEL(0766)64-4070

～仏壇工房をぜひご見学下さい～

十月三十一日宗祖お会式があり、午後から本堂で富山県宗務所長で富山市の利生寺住職末吉観道上人の説教がありました。以下その一部の要旨です。

宗務所長というのは富山県のお寺さんのまとめ役みたいなものです。大法寺の住職さんは宗会議員というのをやっておられる。宗会議員は日蓮宗の宗の議員、国というなら

宗の宗の議員、国というなら宗会議員にあたる。宗務所長は各県にあつてそれぞれの県のまとめ役です。大法寺の住職は富山県から選ばれているが、富山県だけでなく、富山

県と石川県両方を代表している。宗務所は富山県には一つしかないが、石川県には金沢を中心としたお寺さんをまとめる宗務所と、能登は広いので能登をまとめる宗務所の二つがある。宗会議員はこの三つの管轄を代表している。

宗会議員は日蓮宗の代表だから国の国会議員と一緒に、日蓮宗の大事なことを決める

ときには全国から集まって宗議会議を開いている議論して物事を決める。それには宗憲といって国でいう憲法みたいなものがあつてそれに基づく細かい規則があり、その規則に則つていろいろ議論して、知恵を出し合つて宗門を運営することになつてる。

宗会議員は大変で重要な役

である。日蓮宗の全国をまと

聞11月1日号では「日蓮上人の御遺徳を偲ぶ 大本山池上本門寺で第七三四回忌お会式」という風を書いてある。10月13日の亡くなられた日に

お会式をしてる。地方のお寺では皆同じ日にお会式をやるので順番にお寺さんがお互いに助け合つてやつて

る。ところで、日蓮宗は日蓮上



宗祖お会式

「命に合掌」がテーマ

富山県宗務所長 末吉観道上人

める宗務院は東京の池上本門寺にある。高岡と東京をいつたりきたりとなる。それで皆さんにいろいろ迷惑をかけるが広い心で見つめてあげてほしい。

人がお生まれになつてから平成33年、今から6年後の2月16日で八〇〇年になる。日蓮大聖人の御教えを広める我々としてはそれに向けて「命に合掌」ということをテーマと

して取り組んでいる。それで皆さんには先ほどお配りした紙に「命に合掌」をテーマとして書いて出してください。また、日蓮上人降誕八〇〇年と書いてあるお手元の文書には「合掌」ということについて書いてある。(要旨は：)

今日は大法寺で日蓮上人のお会式が務められた。七三四回忌である。日蓮大聖人様は七三三年前にお亡くなりな

った。今日届いた日蓮宗新書

書いて出してください。また、日蓮上人降誕八〇〇年と書いてあるお手元の文書には「合掌」ということについて書いてある。(要旨は：)

石の造形美を創造する

- 墓石
- 石燈籠
- 神社仏閣用石
- 大理石風呂
- 石塀
- 石仏
- 建築用石材

山岡石材店

■本社(店) / 富山県高岡市向野町5丁目50-1 ☎(0766)22-3590
 ■本社工場 / 富山県福岡町下老子733 ☎(0766)64-3051

大法寺年中行事(前半期行事)

- 元旦(金) 新年祝祷祈願会
- 二月二十三日(火) 厄除け・星祭り祈禱会
- 三月二十日(日) 春季彼岸会
- 三月二十七日(日) 十三詣り
- 六月一日(水) 顕妙稻荷御祭礼
- 六月十九日(日) 永代祠堂法要会

平成二十八年度(厄年)

- 男 昭和三十一年(羊)生 昭和五十年(寅)生 平成四年(羊)生 平成十四年(巳)生 昭和三十一年(羊)生 昭和五十九年(亥)生 平成十年(丑)生
- 女 二月二十三日の星除け・節分会の中で厄払いをいたします

元旦 初詣

平成二十八年度の平安無事を祈る元日
 平成二十八年一月一日
 午前零時〜午前三時まで
 ○初詣りに参詣下さいました皆様の御名前を読み上げ平安無事を祈願いたします

平成二十八年度年回表

- 一回忌 平成二十七年
 - 三回忌 平成二十六年
 - 七回忌 平成二十二年
 - 十三回忌 平成十六年
 - 十七回忌 平成十二年
 - 二十三回忌 平成六年
 - 二十七回忌 昭和六十五年
 - 三十三回忌 昭和五十九年
 - 三十七回忌 昭和五十五年
 - 五十回忌 昭和四十二年
- 法要を営まれる際の参考にして下さい

日蓮宗檀信徒二日研修 道場に参加して

黒崎重明

十一月二十九日富山サンフォルテで、立像寺住職間宮啓壬上人の「法華経の心」、妙伝寺住職竹内善啓上人の『仏事の心得』の講題で研修道場が開催されました。仏事の心得のお話をまとめてみました。仏様を敬ってお供えするものに三つの大事なお供え物が有ります。

- ◎お香 ※お線香の本数は特に定めはない。(仏様に對して一本、仏法僧に對して三本、等その場に應じて。)
- ※お焼香の回数も特に定めはない。(多数の方がいる場などでは一回、香を手に取り心を込めてから香をくべる。)
- ※香炉に三つの足があるとき、二つの方を仏様の方に、一つの方を手前にする。
- ◎灯明 ※明かりを供養する思いがよく伝わるのが、仏歌の「ささぐ みあかし」です。(今捧ぐのみあかし、まことの道をあかしたまえ、わが光永遠に絶えず つたなき歩み照らしたまえ。)
- ※口ウソクの色は特に定めはない。(白が基本だが大きな法要など、例えば五十回忌等では赤い口ウソクを使用することもある。)
- ※口ウソクは途中で消して再使用してもよい。安全のこともあるので電気でもよい。
- ◎お花 ※その時期にあるもの、紅葉松、枝もの、鉢物でもよい。※毒のあるもの、トゲのあるもの、花粉の多いもの、造花、臭いの強いものは避ける。(バラはトゲを取り、ユリは花粉を取って使用する。)
- ▽三宝は穴の開いていない方を仏様側にする、そして前に紙を下げない。

- ▽半紙は折って輪の方を仏様にする。
 - ▽仏様に御参りするときは、口ウソク、線香に火をつけて準備してから手を合わせ、仏様の顔を見てから頭を下げる。
 - ▽他の人との挨拶は両の手を合わせる。
- 合掌

編集後記

今年も9月に「関東、東北水害」が発生、記録的豪雨により茨城、宮城で堤防の決壊、川の氾濫がおき多くの住宅が浸水、押し寄せる濁流が住宅をのみ込み、取り残された人達が救助を求めているテレビ中継の映像に胸が締めつけられました。避難指示の遅れ復旧への要望など行政の対応に不満の声が上がっています。

近年「殺人」、「死体遺棄」などの凶悪事件も増加、人々の心が荒れているのか社会の歪みか原因なのか殺伐な世の中にならない事を祈りたいものです。国民の多くが反対した「安保法」の成立、「TPP」の大筋合意、来年から施行される「マイナンバー法」、「18歳選挙権」など身近な問題を重視したいですね。

明るいニュースは2年連続でノーベル「医学生理学賞」に大村智氏、「物理学賞」に梶田隆章氏が決まった事です。

10月24、25日に15年ぶりに天皇、皇后両陛下をお迎えし「第35回全国豊かな海づくり大会」が射水市で開催され多くの市民がお出迎えしました。

11月1日富山、高岡、射水市を舞台に行われた「富山マラソン2015」に1万2298人が健脚を競い、人生の一大決断を胸にゴールを目指すランナー、制限時間ぎりぎりゴールした完走者ら、さまざまドラマが繰り広げられました。治道では家族や住民らが温かい声援を送り、完走を後押ししました。

本年の大法寺は住職が宗会議員(富山、石川県代表)に就任、毎月2回東京での会議に出席、2度にわたるテレビ出演と多忙の中、年中行事も無事、平穩に終了となりました。

これから段々寒さも増します、皆様には体調に気をつけられ良いお年をお迎え下さい。(格谷)